令和8年8月17日発行

岩手県水産技術センター
ニュース No.120

Iwate Fisheries Technology Center NEWS No.120

「ぎょれんーいわて漁連情報」に掲載された「いわて水産アカデミーの取組とこれまでの成果」のホームページでの公開について

岩手県漁業協同組合連合会が発行する季刊誌「ぎょれんーいわて漁連情報ー」の「水産技術センター報告」に、**「いわて水産アカデミーの取組とこれまでの成果」**が掲載されました。

このたび、同記事を当センターホームページでも公開しましたので、ぜひご覧ください。

公開記事：

「いわて水産アカデミーの取組とこれまでの成果」

（企画指導部 及川光 主任専門研究員兼水産業普及指導員）

https://www2.suigi.pref.iwate.jp/wp-content/uploads/2026/08/20260817news-1.pdf

いわて水産アカデミーの
取組とこれまでの成果

企画指導部
主任専門研究員兼水産業普及指導員　及川　光

水産技術センター報告
Fisheries Technology Center Report

県水産技術センターから、いわて水産アカデミーの取組とこれまでの成果についてご寄稿いただきましたので掲載いたします。

【はじめに】

岩手県における漁業就業者数は、1998年の12,443人から減少し続けており、2023年には4,998人まで落ち込んでいます（図1）。年齢階層別に見てみると、65歳以上の割合は24%（1998年）から44%（2023年）まで上昇しており、高齢化も進んでいます。一方、30歳未満の新規漁業就業者層や、30～39歳もしくは40～49歳といった「働き盛り」世代の漁業就業者数は依然として少ないままです。このことから、何も対策を講じなければ、近い将来に高齢者層の廃業により、漁業就業者数が現在の半数程度に減少してしまうことが懸念される状況です。

このような危機的な状況に歯止めをかけ、県内の漁業をリードする将来の担い手を確保・育成するため、岩手県では2019年4月に「いわて水産アカデミー」（以下、アカデミーと略記）を開講しました。本稿では、アカデミーの運営体制やカリキュラム、これまでの実績や直面する課題点について皆さまに知っていただくことを目的としています。なお、本稿の内容は特に断りの無い限り高

図1　岩手県における年齢階層別の漁業就業者数推移

資料：農林水産省『漁業センサス』により作成。

塩・及川（2025）を参考にしています。

【アカデミーの取組と成果】

はじめにアカデミーの運営体制について、岩手

岩手県水産技術センター
〒026-0001
岩手県釜石市大字平田3-75-3　0193-26-7916（企画指導部）